



いしばし君

「友情」号外【参議院議員選挙特集号】

つながって、ささえあう社会へ

会員の皆さんの
年金・医療・介護を守ります！

「石橋みちひろ」の考える 公的年金制度のあり方

NTT 労組退職者の会の皆さま、組織内参議院議員の「石橋みちひろ」です。夏の決戦まで、3ヵ月を切りました。引き続き、よろしくお願いたします。さて、今回は、『公的年金制度』の現状と課題、改革の方向性について、私の考えをお話したいと思ひます。



公的年金制度の改革先送りがもたらした弊害

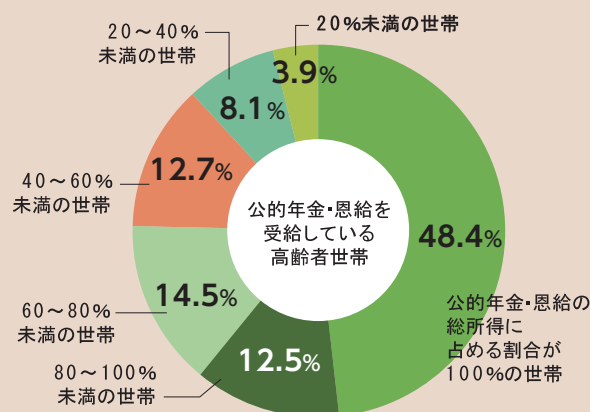
言 うまでもなく、公的年金は、国民の高齢期の暮らしの安心を確保するための最も重要な制度です。図表1にある通り、高齢者世帯の約半数が、年金収入のみに頼って生活されています。



初当選から公的年金制度の抜本改革を訴える

しかし今、この公的年金に対する信頼が大きく揺らぎ、若い世代は、将来の年金受給そのものに不安を持っています。それは、自公政権が、現行制度に固執し、抜本的な制度改革を先送りしてきた結果です。

図表1 公的年金・恩給を受給している高齢者世帯における公的年金・恩給の総所得に占める割合別世帯数の構成割合



厚生労働省「国民生活基礎調査」(令和元年)

注) 四捨五入の関係で100%にならない場合がある。

現行制度では今後も受給額の実質カットが続く

こ 存じの通り、4月以降の新年度、年金支給額は0.4%カットされます。これは、前回の年金制度改悪で、現役の賃金が下がれば、たとえ物価が上昇していても年金額がカットされる仕組みにしたからです。しかも、ここにはマクロ経済スライドが発動できず、来年度以降のカット分としてためられている0.3%分が含まれていません。今後は、特に基礎年金部分の調整が長く続くために、国民(基礎)年金のみの受給者の方、とりわけ、満額もらえない方は、物価が大きく上昇する中で、ますます老後の生活が厳しくなってしまいます。

今こそ抜本的な年金制度改革を!

こ の二十数年間、格差と貧困が拡大していますが、特に高齢者の貧困問題が深刻化しています。資産や収入をお持ちの高齢者世帯と、

そうでない世帯とが二極化しているのです。「下流老人」とか、「一億総老後崩壊」などの書籍が回り、老後不安が渦巻く中、このままでは、今後さらに、現役時代に非正規雇用だった単身高齢女性を中心に、貧困問題が拡大していくことが懸念されているのです。

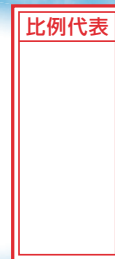
この問題に対処するためには、今すぐ、年金制度の抜本改革の議論に着手して、税財源の投入による最低保障機能の強化と、厚生年金の適用拡大を進めていくことが必要不可欠です。モデルとなるのは、スウェーデン・カナダの年金制度で、それを日本版に修正したものが検討候補です。公的年金制度への信頼を確保することは、年金でお過ごしの高齢者の皆さんだけでなく、将来年金を受け取る現役世代の皆さんの安心にもつながり、避けて通れない政策課題なのです。

その実現のためにも、岐阜の先輩方の応援をどうぞ宜しくお願いいたします。

参議院の 選挙のしくみ

1枚目の投票用紙

2枚目の投票用紙



参議院の選挙は、①選挙区での選挙②比例代表(全国区)による選挙となり、二つの制度を組み合わせ3年ごとに半数の議席を改選します。

参院選は「1人2票」持っています

参議院選挙の投票方法

1枚目の投票

都道府県選挙区
候補者名を
書いて投票



2枚目の投票

比例代表も
候補者名を
書いて投票
※政党名でも可



情報労連NTT労組退職者の
会岐阜県支部協議会は、
「石橋みちひろ君」を
応援しています

【プロフィール】

- ・2010年参議院選挙初当選
(現在2期目)
- ・経済産業委員会委員長
- ・厚生労働委員会 理事
〈年金問題に力を発揮〉

